龍丘時報

地番――村丘龍郡那伊下
編輯兼人行発久保田經男
發行所　龍丘青年會
代表者　下平貞雄
長野縣下伊那郡飯田町五七四
印刷人　麥島吉次郎

說論

村議戰臨時號發刊に際して

村の次期四ヶ年間を村政直接の遂行者として村治を肩に負ふて立つ村會議員選擧を四月十九日を目前に控へ　村の新聞たる龍丘時報は此處に臨時號を發行して　この眞面したる村議戰に村の新聞として使命を發揚するの　つとめを痛感しこゝに本紙を発行する事とした。

◆……

村議選擧に就いてはすでに　各方面から論ぜられ　亦時報も是に關する論說はしばしば掲載してゐる所であり理想選擧の如何　村議選擧の重要性　その他選擧に關する一般的な事は書かずとも讀まずとも熟知の事であるが　一回二回と回を重ね　年一年と新たなる進展の社會　村々の現在にあつて、選擧が年とゝもに改善されて行くべき　筈のものが　反對の現象はあまりに情けない限りである。

▽……

今期の改選こそはと……十分の期待をかけるのは　必ず少數の人々のみでわない事であらう　村を憂ふる人　自治の暗さをなげく人は誰しも一樣にこうした時を契機に眞の代表をゑらぶべく送るべく期してゐるものと思ふ。

▽……

然し乍らそこに直面するときものを言ふものは金力である、吾々は此の腐敗選擧をもつて常道の如く考へて行動するものゝ多くを思ふときその淨化の徹底的行動を要すると共に　しんの選擧に目覺めた大衆によつてこの社會をなめ盡す日を待望するや切である。

▽……

今期の選擧がどの程度迄　淨化されて行はれるかは　甚だ期待の薄いものであるが次第に目覺めた選擧を得て来た今期の事だから相當の理想投票の行はれる筈と信ずるものである。

時報がこゝに　村議戰の爲め特輯號を發行するのも　その直接的な淨化運動や、革正運動の如き効果をあげる事は出來得ない乍ら　その持つ所の文字。文筆の力によつて村議せんへの認識を深めると仝時に候補者並に選擧民大衆に呼びかけ　一考を促すべき徴心の表はれである。

此の臨時號が老若男女を問はづ一般村民大衆へ向けて幾分なりとも効果的役割を果し得る事を望むものである。

【完】

聲明書

村議改選に際して

村民各位に檄す

農村經濟の破たん恐慌は益々擴大し農民生かつ即ち村五千の生かつ動向は極度におびやかさるに至つた

此の重大時局に當つて最も多大の關係をもつ村議改選が目前に迫つた。

眞に農村を匡救し健全なる自治體たらしむる力それは賢明なる各位自身の力以外に何ものも無い事を信ずる。

明朗なる自治精神を把握し村勢に對する的確なる認識を以つて丘の全貌を　正視せよ檢討せよ　批判せよ

各位の一票こそ自村を光明にするか暗黑にするかの非常分岐點にある、

有權者各位

村政はすなはち農民生かつを基調としなくてはならない過去に於ける因習と情實と金權との誤れる選擧弊を是正しより強き愛鄉自治建設の信念を以つて各位の一票を嚴正に行使せよ。棄權する勿れ責任ある一票を眞により良き丘の爲に役せられよ。

吾等青年會は次代擔當の信念をもつて愛村的純理論に立脚し今回の村議改選に直面して徹的底之が淨化廓清の貫徹を期す

昭和八年四月十八日　右敢て聲明す

龍丘青年會
龍丘村大字桐林三三六七
責任者　下平貞雄

村議選の矛盾性と青年の苦悶

中田美穗

今回の選擧も金待ちや物持ち連中か乃至はそれらとデリゲートな有機的關係を持つ人達の候補で金錢に糊算された淡薄職の選擧に終ることであらうから、私が以下勘くとも『眞正なる選擧』『眞面目な選擧』を前提として考察した所信も結局徒爾かも知れぬ

事實の擁着としん理の矛盾

選擧に直面して現實は私の投票に多くの矛盾と束縛を課せる。

一、部落制の存在は全村的人物のセンキョウを許さない

二、政黨禍の弊害は政黨の細胞的支部の徹底的活動を憚かる

三、財産的階級に依る一般村民の無自覺はセンキョウを經て自己生活の向上の途の利用方法を知らぬ

四、金權の横行としん理及び道念の涙却

等の事柄のために純しんな青年の苦悶は荒し淺くはないのである

部落か一村か

部落有財産の擁護と區民の利益享受のために部落は自區内より最大限度の當せん圏内の候補者を推薦するのは当然であらう。

部落有財産の統一は上司の指揮を俟つ間でもなく必要なことであるが、之が實行は唯時機の問題となりつゝあるから、この問題解決には今日から其の方針と目標の下に村議せん出の要もあらう

現在はかくせんきよう區單位の變態性を肯定しなくてはならぬが、よりよき人物を求むるためにはこの情實的束縛に拘束されてはならないところに私の苦悶は先ず出發する。

救黨支部の存在

『政黨の黨弊より農村を救へ』などと謳濃町村長會長は叫んで其の運動をやつてゐるが、あれは正しき政黨の認識を欠いてゐる。中央に政黨本部あれば堂々と郡町村にも支部を置いて徹底的に相克爭してこそ、しんに政黨存在の意義があるのだ。

にも不關　村の所謂以政者達は……政黨支部の設立に策謀し援助し賛成し、せんきようの際には其の團体の後援乃至は支持を享けながら……政黨を排擊し黨爭の害を說いてゐる事實がある。私はかゝる輩に敢て傳へたい何故自身進んで政黨支部の解消運動に努力せぬか。政黨支部の存する限り政黨禍の弊害は絶ゑるときがない無意義極まる政黨のために地方の一寒村に各々對立的支部を存置して血道をあげるは愚であるは當然であるが。

せんきよう母体と自己の關係

村の等級割をみるに比較的中產階級が背負ひ過ぎてゐる事實を否む事はできまい。

これは之が作成決定に当り村議諸公が己を守りひ迎合した證左であつて、村議が多くは紳封家連であるからだ。

變態心理者でない限り貧乏人に同情し金持ちや地所持ちは金持ちや地所持ちと提携するのが人情のつねである。

金が物を言ふ世の中で親の光は七光で、名家や有產階級からのみ村議が出てゐると究極中產以下の一般が負擔を多く被るから、村の大多數を占めてゐる中產階級以下より代議者を多く送ることが、回り廻つて自己の利益になることは平凡な道理である。社大黨あたりの口調で言へば、無產者よ團結して運動のために無產者よ團結して起てと云ふところである。

然るに現在の所謂センキョウ母体なるものが部落であり組合であり既成政黨の尻馬であり、で正しき自己生活擁護乃至は向上を根底としての有機的組織の結合から生れ出たものでないから、背負ひ込んだりしても苦情の遣り場が無い

正しきせんきよう母体の確立に在り　その母体は自己の生活向上を目的とする結合團体でなくてはならぬことに決着する。

センキョウと眞理の把持

前記の如くにせんきよう母体がありセンキョウ輿論の發生がしんの大衆から出たものでないために裏面には当然醜悪な金錢授受　利權の交換となる。殊にセンキョウ母体を超越しセンキョウ地盤を無視する場合には其の横行は一層甚だしい。

村議せんきようを稱して村議戰と云ふは、せんきようは戰ひであるからだ　勝利のために手段を擇ばず勝てば官軍　負くれば賊軍のたとに洩れずセンキョウ戰は終始鬪爭である。嚴々實々の祕術の試合である　理論でなく事實の現象であるだから其の間に於て、道德も人情もしん理もみな時の方便になつてしまふ、確固たる信念のなき者は　有事の際に理否直面の批判力を失ひ將来及び大局に通する目標を消失して群衆心理に支配されて了ふ、だからセンキョウ民は自己と村との兩方面から考察して誤らぬ行動を果すべく平素の認識が肝要である。

しん理を沒却して唯勝利を目標とした村議戰こそ呪ふべきものはない村のため、村民のためのセンチョウが勝負のためせんきようになるならば單なるスポーツの競技と異ならず利益を目的としたバクテの勝負よりも劣る

政治は生活

せんきようは人の數の問題で、自分一個はこの事實の矛盾、理論撞着に對して相當の批判と用意は把持し解決の途はできてゐるが多くの同意と共鳴を有しなくては無駄だが個々の集團が村であり區であるから個々の生活意識を根底としての村議をせん出するならば敢て賛成を求めずとも、同意を強要しなくとも最終の目的は達成せらる

村議戰とは

其の漫畫的風貌を描

丘比

空いた十二の未亡人椅子
外聞も無く秋波をおくる不良老年將に時代錯誤議員の登場を怖る
春四月春雨ならで篠つく雨
雨後の筍
ぼつ〳〵出揃ふ
素晴しい村政ズシの味覚を知り度い
部落盲愛宗
部落本位せん說く
不可侵條約の締結
カカシ外交の結果をどう見る
予せん會の影芝居を地でゆく部落がある
白日の下の不正せんきよう
曹せんの神樣が哭きまでぞ
五千の村民千の有權者十二の議員
責任率の激加をどう公式にする
藤へないぞ蹄れないぞ、この幾化學は？
いろとりどりの旗じるし
政黨を自治体に持込む律義者
自治が通れば政治引つ込むの原理を
社會辭典からたんねんにひろへ
名譽村議

□

おびんづる樣の色彩濃厚
欲もこゝまでつのれば撫てやりたくなる
黄金で練つたお新粉細工
百姓もどうやら
金力の前でこねられそう
五千の首をでつちあげる腕をもつか

完

選擧偏望

小林讓

せんきようだ、餘す所此處數日然るに當の御本尊樣がさつぱり名乘りを上げてくれず甚だ以て熱が昇らない一ヶ月も前から名乘つて騒いで歩いちや大黒樣も運び切れまいとんだ御祭しお利巧お利巧、是も不況の現れか？

□　□

村の大事　村民も御本尊樣もいいかげんにざわ付きさうなもんだ。ときは良し櫻花滿開花の香に浮かされて來た早く何とか色を付けて立派に旗擧げしてほしい。

主力艦の制限をされ苦肉策に補助艦殊に潜水艦を使用す。軍国のせんきよ正に海戰の如し

四、一三

刻々迫る審判の日
新たなる村議十二人
次の村を背負ふ人々はどこえ
候補者噂の人を展望す

既に久しく噂され期待されてゐた村會議員改せんの日は目捷の間に迫つて来た昭和八年四月以降四ケ年間の龍丘村治を代表する議員十二人への白ゐの矢はどう立たゝるか今期せんきようは如何なる行動が行はれ、どんなせんきようを招來するか……等の疑問と期待は今や村をあげての渦目注視の焦點である。

殊にも現下の經濟困難の秋に際して居らばれる人への注目は一層大きい

近村々議戦と同樣に本村も今度は早くから驕がず沈靜をつづけて來たが、相當の暗躍も傳へられて居りこの二三日次第に表面化して來たやうで愈々本筋に入る樣である　立候補した人　噂中の人等に各區巷間の人々を展望する

有權者二百
候補亂立は
避け難い
苦戰を語る桐林區

改せん日ももく前に迫り少壯年連中は暗中模索の中に飛躍策略を練り切迫するあはただしさの中にあつて色々の論議が釀されてゐる

先づ桐林の狀勢を此の方より瀧麓場裡に馬を進むる人々を拾つて見やう

前區長現助役である岡村哲氏の出馬は確定的であり然して現區長として　信任ある原建三氏は當桐林區　村に於ける第一人物として世の等しくおす所である氏は現區長として區内の統制上の役にある關係上出馬に考慮してゐるらしい

然し世は斯る人物を今非常時にありて求めてゐる氏の地元下北組合は氏の如何に拘ず推し進む事に決議されたそうである

更に古瀧組合に現村議　中田伊作氏がある　氏は起つか如何かは疑問であるが起てば當せんに確實性があると思ふ　氏不起の場合は同地盤にある　人望家原春一氏がある同地の一人の出馬は必ず疑ふ餘地なし

更に南平に現村議土木關係に特に盡力しつゝある岡村治司氏あり眼を點じて安城平に下平安治氏、氏は前回に鑑みて堂々と馬を進むるか如何は衆目の見る所である

手腕力量に於いて氏を慮やうに努力してゐる人もあるらしい

更に同地に於いて原清一氏の出馬が有るとか人々巷間の噂あり

氏の出馬は正にひと〳〵の胸に波紋を起す念を深からしむるものであらう

斯くして有權者二百桐林の狀勢は全く混戰し其の深み行く惱みの中に如何なる戰術策戰が行われて行くか？　其の結界如何にして票數の奪取に血の出る樣な奮せんは当桐林區に於て兎れまいと思ふ

候補四名
平隱に濟むか
駄科區

改せん日三四日前に致るも　裏面的には騷がないが　沈靜のうちにも次第に熱が地下から釀されて来つゝある樣で第一に立候補を聲明した人は新人下平竹次郎氏で早くより鮮明な態度で政戰に乘り出して居る樣であり　前村議吉川作平氏も少し是よりおくれて態度を明かにして馬を進めた　全じく前村議の上松貢一氏も再せんを期して出馬し　現村長の要職にあり長く村政を運ぶ代田市郎氏も出ばして此の二三日に四氏は決定した

早くより噂をされた木下茂二氏は今期は立候補の意志ない樣子にて又前村議岡島倉吉氏は種々噂されてゐるが再出馬はせん事に決意してゐるとか聞く　結局今の所嫁四人婿四人の形で比較的隱かに行はれる樣子である

上川路の展望

上川路區は目下の話題の人々は現區長塚平利一シありシはもく下の處諸狀勢を見てゐるか出馬の所は不明であるが最適の人としてシをとりまく人によつて結局は出馬するものと見られてゐる、次は信用組合長と社掌樣の清水眞吾シ有現在の要職の關係上出馬は疑問で有るが其の如何は　此の雨日に決定するで有ろう

然して　現村議木下寛一シ有り又他に清水代三郎シ等野心有る人々の存する事は明かなり

時又は賑か
噂は飛ぶ

時又は割當一名に對して現村議河原參也氏あり氏の自治行政に對する手腕は全く呑ゐたるもの有り堂々と對する態度こそ多くの人々が氏に待望する所以で有る然して現村議下平三七氏有り温厚德實の人として衆生の推す所で有ろう出馬はかく定的で有る

他に商工會長岡島銀次郎シ有り農會副會長中島金一郎シ有り

氏は前回は不幸落せんの浮めに逢ひて今回は緊褌一番以て其の雪辱にむくゐんとして運動は行われてゐるとか聞く

今一人に愛勤の大旗の元に林主計氏の出馬說は巷間に噂の種をまいてゐるとかや　其の他に下田忠男氏岩堀榮道シ等出バの模樣

4月19日

◆村の次期四ケ年をまかせる人が定まる日だ
◆後に致つて兎やかくの文句や後悔はすべきにあらず
◆安心してまかせる人悔なき人物を選べ！

本村有權者數　總計九五九人

内訳　駄科　三〇八　長野原　七七　時又　二二九　上川路　一一六　桐林　二二九

龍丘青年會の選擧對策
聲明書發表に止む
キュ察隊或ひは支會に依り組識か

本村青年會として今期選擧への對策は去る研究會の席上論議盛んに飛ばされたがそれ等を總合すると村自治の事だ雄々しく淨化運動を起せの聲多く立合演說糾察隊組識　檄文配布等々の具体案がでたが結局委員會では聲明書發表に止め臨時號を發刊するがその他の行動にはでない樣である　切迫した頃支會に依つては或ひは糾察隊が行はれる樣である

長野原區の狀勢

長野原區は小林善氏今村善一氏の兩氏いづれかに落着するであろう

同區は區内統一し一人を出すのだから余り心配する必要もないだろう　村議小林鍾吉氏の勇退が傳ゐられてゐるかこれ又？とされてゐる當龍丘村に有りては總括的に苦戰が轉開されて行くで有ろう

村議寸惑
下平清

村議せんについて何か書けと云ふ選擧と云ふ言葉を聞くと一抹の不快な感じが心を一過するを禁じ得ない　普せんになつた今時選擧を腫物扱ひにするのではないが然しいま迄のせんきようの歴史が不快な感じを與へるのは私しばかりではないと思ふ　獨裁や專獻がよいと云ふ理由はどこにもない　只衆愚に勝る賢聖はあるかも知れない

然しそれは異例であり進歩を意味するものではない普せん法の制定は文明への曙光ではあるが也の開化はそれ等の眞意我が普扁されることにある　時に人は制度を制し得ても制度は人を制することが出來ない場合がある　殊に今度の村議せんは自治の基調である　自治とは自ら立つて自ら治めることである　立候補する人ばかりが自治の責任者では無い　農村問題にしてもそうであるが國は国として縣は縣として村は村として個人は個人として各々どうしても人手によつてはどうすることも出來ない領域がある各々その獨自の分擔領域に立つてそれを完全に遂行される時農村の更生は眞成されるのではないだらうか　一票の基礎である個じんは勿論この際村議せんにかてはこの機に農村更生の一角に堅陣を作らなくてはならない一にんでも二にんでも正しい認識によつて立候補され又投票されることはそれだけ村の前途が明るくなることであり希望つけられることである

村會選擧への待望
下田隆二

四月十九春驚亂の花吹雪のなかに、我等の村議逐鹿の火矢が放たれる

述べるまでもなくそん會ギ員のせん出は　他のあらゆる政治的意味を有するセンキョウとは異り行政自治のうへに官僚的色彩を絶對に加味せざる　一個の自治体の完全的成立の方法であつて直接的な幾多の問題を内容とするセンキョウである

むらは如何にして行政的完全性を執行すべきか　我等の生活とは接觸面に於て　如何に村政治の運用は密接なる因果關係を持つものであるかに思ひ到つたとき　むらの生活者自身の管理下にあるそん政の處理を委任すべき適當なる代表者のせん出には　我等は最も正かくなる批判とたい度をもつてせねばならなぬと思ふものである

センキョウはせん出者のじん格のよき反映である　じん心一度地に際ちて腐敗の極に達したとき必ずやその應報として　センキョウ界は醜怪なるものと化して終ふのである

我々の生活　我々の自治をもつてするそん政がかゝる　狀體に轉回し最惡なる場合を想到せねばならぬとするならば我々は敢然として『來るそん會ギ員のせんきようこそ我々の生命線を左右する重大なる鍵である』と大言するも憚らぬものである

然るが故に　ギ員せん出の機會に臨んでまず思ふのは我等の代表者としては絶對的信賴を囑すに足るじん格と手腕をゆうするじん物を以つてし當るに一切の情實　買收卑頭の如き不正手段や妥協手段を排擊　警戒し　所謂理想的センキョウを經營せねばならぬと信ずるのである

我我の舊慣習は政治をそしてセンキョウを暗黑面の取引と思はざるを得ぬ遺憾なる數章をもつてゐるこれに対して次の時代の社會の踏襲と新らしき建設を計らねばならぬわれ〳〵青年が前期の方法をそのまゝ遺産として　頑迷なる舊守を續けたとするならばジ治作用の破壞である

私は敢てそん政の應用に新らしき形式と方法とを以つてする新じんの輩出を希ふのではない寧ろ老錬なるジ治的力量を持つじん物にこそ待望するものでるわれ〳〵はかかるじん物を判然と注視せん出に當つては公正なる體度を保持せねばならぬと思ふのである

そん政はわれ〳〵の生活と直接である　否實体であると信ずるそれを思へばそん會選擧に当つて先ず完全なるじん格をもつ紳士でなければならぬ

センキョウ者も被せん擧者も深き留意の下に明るきせんきよう輝かしき一票の行使によつて完全なる合法せんきよう施行を切望して止まない

雙刄劍
いよ〳〵訪れたそんギ戰

×

編輯餘錄

そんギ戰臨時號發刊は早くよりの計画であつたが　こうした事は時期の問題で早くから心がけて原稿を作製する樣な事が出來難く亦責任のある事で明かくなものを發表せねばならない

■

從つて　發行日が切迫しつゝ亦四月十九日の日が迫りつゝも時報編輯の法が決定せれず　全く狼狽して編輯しました　爲　各方面の御滿足を得られません

■

御寄稿願つた方方御多忙を恐れ入りますいろいろな意味で不完全を方謝いたします

時しも櫻花爛漫＝　この花にまけない樣な理想せんきようが出來ませうか

×

一生懸命努力して本紙を發行してもヘン何だい　と小馬鹿にする階級がある

×

そう云ふのが　不審選擧腐敗せんきようの　本にんである事はひとり神樣だけでなく　いづれも明かな事

○

熟覺し考察し批判されるじん物でむらが埋まる時にはしんの明朗なるせんきようが行はれる時

○

望み見ゐつゝ道なほ遠し行ふひと知るひとぞ　まづ憤起されよ

○

○

せんきよう日が迫ると晝となし夜となく道をせはしげに往來する顏役あり　曰く選擧ブローカー

○

そんギ戰なんてどうせろくなものぢやあないまだまだ期待するだけ野暮さとうそぶくひと〳〵

○

結局同感ですねあまり力こぶを入れてゐるとばかを見ますとか

○

若者連よ何故泣くか　この世の中があんまりばからしくて

○

雙刄劍も血を參る日は何時